

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Takahashi T, Tomonaga A, Watanabe K, Tsuboi M, Nagaoka I: Evaluation of the efficacy and safety of long-term intake of a dietary supplement containing salmon nasal cartilage-derived proteoglycan on subjects with subjective knee symptoms -An open study- Jpn Pharmacol Ther 46: 1693-1706, 2018.	
英文原著	2		Murakami T, Suzuki K, Niyonsaba F, Tada H, Reich J, Tamura H, Nagaoka I: MrgX2-mediated internalization of LL-37 and degranulation of human LAD2 mast cells. Mol Med Reports 18: 4951-4959, 2018.	○
英文原著	3		Iba T, Levy JH, Hirota T, Hiki M, Sato K, Murakami T, Nagaoka I: Protection of the endothelial glycocalyx by antithrombin in an endotoxin-induced rat model of sepsis. Thrombosis Research 171: 1-6, 2018.	○
英文原著	4		Tsuruta A, Horiike T, Yoshimura M, Nagaoka I: Evaluation of the effect of the administration of a glucosamine-containing supplement on biomarkers for cartilage metabolism in soccer players: a randomized double-blind placebo-controlled study. Mol Med Reports 18: 3941-3948, 2018.	
英文原著	5		Yoshikawa T, Miyamoto M, Aoyama T, Soyama H, Goto T, Hirata J, Suzuki A, Nagaoka I, Tsuda H, Furuya K, Takano M: JAK2/STAT3 pathway as a therapeutic target in ovarian cancers. Oncol Lett 15: 5772-5780, 2018.	
英文原著	6		Reich J, Tamura H, Nagaoka I, Motschmann H: Investigation of the kinetics and mechanism of low endotoxin recovery in a matrix for biopharmaceutical drug products. Biologicals 53: 1-9, 2018.	○
英文原著	7		Komatsu J, Nagura N, Iwase H, Igarashi M, Ohbayashi O, Nagaoka I, Kaneko K: Effect of intermittent teriparatide on the mechanical and histological changes in bone grafted with β -tricalcium phosphate using a rabbit bone defect model. Exp Ther Med 15: 19-30, 2018.	
英文原著	8		Iba T, Hirota T, Sato K, Nagaoka I: Protective effect of a newly developed fucose-deficient recombinant antithrombin against histone-induced endothelial damage. Int J Hematol doi: 10.1007/s12185-018-2402-x, 2018.	
区分	番号		全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文総説	1		Nagaoka I, Tsuruta A, Yoshimura M: Evaluation of cartilage and bone metabolism in collegiate athletes belonging to various sports clubs by analyzing type II collagen degradation and synthesis, and type I collagen degradation. Juntendo Med J 64 (Suppl 1): 122-127, 2018.	
英文総説	2		Nagaoka I, Tsuruta A, Yoshimura M: Evaluation of chondroprotective action of glucosamine on soccer and rugby players by analyzing type II collagen degradation and synthesis markers. Juntendo Med J 64 (Suppl 1): 128-133, 2018.	
区分	番号		発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Ochiai T, Abe Y, Kishine K, Sato T, Sakuyama N, Nagayasu K, Nakatani A, Kitajima M, Watanabe T, Nishimura K, Nagaoka I: Impact of primary tumor location as a predictive factor in cytotoxic anti-cancer agent for colorectal cancer (CRC) based on collagen gel droplet-embedded drug sensitivity test (CD-DST). 26th United European Gastroenterology Week, Vienna, Oct 22, 2018.	

国際学会発表	2		Kumagai Y, Murakami T, Reich J, Tamura H, Nagaoka I: Human cathelicidin peptide LL-37 ameliorates sepsis in a mouse model through induction of microparticles with antibacterial potential from neutrophils. 2018 Joint Meeting of the Society for Leukocyte Biology & the International Endotoxin and Innate Immunity Society, Abstract 90, Phoenix, Oct 16, 2018.	○
国際学会発表	3		Murakami T, Suzuki K, Niyonsaba F, Reich J, Tamura H, Nagaoka I: MrgX2-mediated internalization of LL-37 and degranulation of human LAD2 mast cells. 2018 Joint Meeting of the Society for Leukocyte Biology & the International Endotoxin and Innate Immunity Society, Abstract 114, Phoenix, Oct 16, 2018.	○
国際学会発表	4		Abe Y, Sakuyama N, Ochiai T, Nagaoka I: The evaluation of 5-fluoruracil plasma level in colorectal cancer chemotherapy patients via continuous 5-fluoruracil infusion therapy. ESCP - European Society of Coloproctology, Thirteenth Scientific & Annual Meeting, Program WP40, Nice, Sep 26, 2018.	
国際学会発表	5		Igarashi M, Nakamura K, Sakamoto K, Nagaoka I: Functional analysis of glucosamine in the induction of autophagy in chondrocytes. キチン・キトサン研究 24: 288, 14th ICCS/12th APCCS/32nd JSCCC, 大阪府大阪市, Aug 28, 2018.	
国際学会発表	6		Someya A, Sakamoto K, Nagaoka I: Glucosamine modulates the activation of NF- κ B via the O-linked-N-acetylglucosamine modification in synovial cells. キチン・キトサン研究 24: 297, 14th ICCS/12th APCCS/32nd JSCCC, 大阪府大阪市, Aug 29, 2018.	
区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文原著	1		山本貴之, 森 貞夫, 深川光彦, 朝長昭仁, 守田 稔, 長岡 功: コラーゲンペプチド摂取による膝関節の自覚症状へ及ぼす効果 - ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験 - 薬理と治療 46: 837-847, 2018.	
区分	番号		全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文総説	1		五十嵐庸, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンの軟骨細胞におけるオートファジーに対する機能解析. 日本未病システム学会雑誌 24: 58-61, 2018.	
和文総説	2		田村弘志: 再生医療等製品の安全性評価 - 微生物安全性試験、とくにエンドトキシン試験を中心に - PHARM STAGE 18: 37-44, 2018.	
区分	番号		全著者名、書籍名、出版社名、出版年；巻（号）：ページ番号等	国際共同
和文著書	1		長岡 功, 細田浩司, 中村果歩, 胡 忠双, 村上泰介, 鈴木 香, 田村弘志: 宿主細胞の細胞死の調節を介した、cathelicidinファミリーの抗菌ペプチドLL-37の敗血症マウスモデルに対する効果. エンドトキシン・自然免疫研究21- エンドトキシン・自然免疫研究のフロンティアをめざして. 小谷穰治, 長岡 功 編集, 医学図書出版株式会社, 東京, 56-61, 2018.	
和文著書	2		長岡 功: グルコサミン. 血流改善成分の開発と応用. 大澤俊彦 監修, シーエムシー出版, 東京, 222-231, 2018.	
和文著書	3		田村弘志: (1→3)- β -D-グルカン測定法の進歩と将来展望. β グルカンの基礎研究と応用・利用の動向 大野尚仁 監修, シーエムシー出版, 東京, 113-128, 2018.	
和文著書	4		五十嵐庸, 中村果歩, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンの軟骨細胞におけるオートファジーに対する機能解析. Functional Food Research 14 -ファンクショナルフードの未来. 野村義宏, 岡本芳晴, 奥村正裕, 中村 洋, 福井尚志, 和田政裕, 長岡 功 編集, インフォノーツパブリッシング, 神奈川, 10-13, 2018.	
和文著書	5		長岡 功, 朝長昭仁, 深川光彦, 三井幸雄, 佐藤麻紀, 藤田さゆり: 酵母SM-10含有食品の膝関節痛を有する被験者の関節機能に対する効果. Functional Food Research 14 -ファンクショナルフードの未来. 野村義宏, 岡本芳晴, 奥村正裕, 中村 洋, 福井尚志, 和田政裕, 長岡 功 編集, インフォノーツパブリッシング, 神奈川, 48-56, 2018.	

和文著書	6	長岡 功, 百村 励, 内藤聖人, 五十嵐 庸, 渡 泰士, 寺門厚彦, 大池 新, 金子和夫: 自転車競技選手の軟骨代謝に及ぼすグルコサミン摂取の効果. Functional Food Research 14 -ファンクショナルフードの未来. 野村義宏, 岡本芳晴, 奥村正裕, 中村 洋, 福井尚志, 和田政裕, 長岡 功 編集, インフォノーツパブリッシング, 神奈川, 57-64, 2018.	
区分	番号	発表者名、発表タイトル(題目・演題・課題等)、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	鶴田曉史, 堀池 巧, 長岡功: サッカー競技選手におけるグルコサミン含有ゼリー飲料の軟骨代謝に対する評価. 第16回日本フットボール学会プログラム・抄録集, 39 18FO-49, 千葉県印西市, Dec 24, 2018.	
国内学会発表	2	長岡 功, 鶴田曉史, 堀池 巧, 吉村雅文: 運動競技選手の軟骨・骨代謝に及ぼすグルコサミン含有食品摂取の効果. 機能性食品と薬理栄養 12: 194, 第16回日本機能性食品医学会総会, 新潟県新潟市, Dec 16, 2018.	
国内学会発表	3	五十嵐庸, 中村果歩, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンの軟骨細胞におけるオートファジー誘導に関する機能解析. 機能性食品と薬理栄養 12: 195, 第16回日本機能性食品医学会総会, 新潟県新潟市, Dec 16, 2018.	
国内学会発表	4	染谷明正, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンによるNF-κB阻害タンパクであるIκBαの制御. 機能性食品と薬理栄養 12: 193, 第16回日本機能性食品医学会総会, 新潟県新潟市, Dec 16, 2018.	
国内学会発表	5	熊谷由美, 村上泰介, 栗原京子, Reich Johannes, 田村弘志, 長岡 功: 抗菌ペプチドLL-37による好中球細胞外小胞(エクソソーム)の産生を介したマウス敗血症の病態改善. 第24回日本エンドトキシン・自然免疫研究会 プログラム・抄録集: 一般演題 33, 神奈川県横浜市, Dec 1, 2018.	○
国内学会発表	6	熊谷由美, 村上泰介, 栗原京子, 射場敏明, 長岡 功: 好中球細胞外小胞の産生を介したLL-37によるマウス敗血症の病態改善. 第101回日本細菌学会関東支部総会 講演要旨集, 54, 東京都港区, Nov 2, 2018.	
国内学会発表	7	目黒至高, 井上節子, 長岡 功: タマネギ外皮摂取のマウス脳と血清中ドーパミンのHPLCによる分析. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, C2-3, 東京都千代田区, Oct 27, 2018.	
国内学会発表	8	田中 夢, 井上節子, 長岡 功: タマネギ外皮摂取のマウス脳、血清中のたんぱく質の分子量分布. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, E2-3, 東京都千代田区, Oct 28, 2018.	
国内学会発表	9	野崎太郎, 井上節子, 長岡 功: タマネギ外皮がアルコール摂取時にマウス脳、血清中の脂質、ドーパミンに与える影響について. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, E2-3, 東京都千代田区, Oct 28, 2018.	
国内学会発表	10	五十嵐庸, 中村果歩, 坂本廣司, 長岡 功: 軟骨細胞におけるグルコサミンによるサーチュイン1を介したオートファジー誘導に関する機能解析. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, C2-5, 東京都千代田区, Oct 27, 2018.	
国内学会発表	11	染谷明正, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンによるO-N-アセチルグルコサミン修飾を介したNF-κBの機能制御. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, C2-2, 東京都千代田区, Oct 27, 2018.	
国内学会発表	12	ヌルビヤミジティ, 染谷明正, 長岡 功: イソフラボン類の炎症性サイトカイン産生に及ぼす影響. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, C1-4, 東京都千代田区, Oct 27, 2018.	
国内学会発表	13	染谷明正, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンはO-N-アセチルグルコサミン修飾を介してNF-κBの活性化と核移行を抑制する. 第91回日本生化学会大会 プログラム 1P-251, 京都府京都市, Sep 24, 2018.	
国内学会発表	14	鈴木 香, 大熊真理, 長岡 功: ヒト抗菌ペプチドLL-37による血管内皮細胞のオートファジーと細胞死に対する作用. 第91回日本生化学会大会 プログラム 2P-297, 京都府京都市, Sep 25, 2018.	
国内学会発表	15	村上泰介, 森林叔子, 鈴木 香, 長岡 功: Mas-related gene X2を介した、マスト細胞への抗菌ペプチドLL-37細胞内移行と脱顆粒応答. 第91回日本生化学会大会 プログラム 3P-033, 京都府京都市, Sep 26, 2018.	
国内学会発表	16	五十嵐庸, 中村果歩, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンの軟骨細胞におけるオートファジー誘導における機能解析. 第91回日本生化学会大会 プログラム 3P-259, 京都府京都市, Sep 26, 2018.	
国内学会発表	17	鈴木 香, 大熊真理, 長岡 功: ヒト抗菌ペプチド LL-37 による血管内皮細胞のオートファジー誘導. 第91回日本細菌学会総会 プログラム集 P-350, 福岡県福岡市, Mar 27-28, 2018.	

国内学会発表	18	Li Yan, 熊谷由美, 鈴木 香, 長岡 功: Analysis of the components of neutrophil-derived microparticles with antibacterial activity. 第91回日本細菌学会総会 プログラム集 P-354, 福岡県福岡市, Mar 27-28, 2018.	○
国内学会発表	19	村上泰介, 鈴木 香, 長岡 功: Involvement of MrgX2-mediated LL-37 internalization in degranulation of human mast cells. 第91回日本細菌学会総会 プログラム集 P-356, 福岡県福岡市, Mar 27-28, 2018.	
国内学会発表	20	長岡 功, 朝長昭仁, 深川光彦, 三井幸雄, 佐藤麻紀, 藤田さゆり: 酵母SM-10含有食品の膝関節痛を有する被験者の関節機能に対する効果. 第14回ファンクショナルフード学会学術集会プログラム, 6-7, 第14回ファンクショナルフード学会学術集会, 東京都千代田区, Jan 6, 2018.	
国内学会発表	21	長岡 功, 百村 励, 内藤聖人, 五十嵐庸, 渡 泰士, 寺門厚彦, 大池新次, 金子和夫: 自転車競技選手の軟骨代謝に及ぼすグルコサミン摂取の効果 ~関節マーカーを用いた層別解析~ 第14回ファンクショナルフード学会学術集会プログラム, 10-11, 第14回ファンクショナルフード学会学術集会, 東京都千代田区, Jan 6, 2018.	
国内学会発表	22	五十嵐庸, 中村果歩, 坂本廣司, 長岡 功: グルコサミンの軟骨細胞におけるオートファジーに対する機能解析. 第14回ファンクショナルフード学会学術集会プログラム, 12-13, 第14回ファンクショナルフード学会学術集会, 東京都千代田区, Jan 6, 2018.	
区分	番号	発表者名、演題、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	長岡 功, 鶴田曉史, 堀池 巧, 吉村雅文: サッカー競技選手の軟骨・骨代謝に及ぼすグルコサミン含有食品摂取の効果 : 二重盲検比較試験による検討. 第25回日本未病システム学会学術総会 抄録集, O1-6, 東京都千代田区, Oct 27, 2018.	
特別講演・招待講演	2	Nagaoka I: Chondroprotective action of glucosamine, a chitosan monomer, on the joint health of athletes. キチン・キトサン研究 24: 134, 14th ICCS/12th APCCS/32nd JSCCC, 大阪府大阪市, Aug 30, 2018.	
特別講演・招待講演	3	長岡 功: 宿主細胞の細胞死に注目した、抗菌ペプチドLL-37の敗血症マウスモデルに対する効果. 第33回日本Shock学会総会, 東京都千代田区, June 30, 2018.	
区分	番号	発表者名・著者名、活動内容・タイトル等、掲載・発表情報等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	染谷明正: 第16回日本機能性食品医用学会総会 優秀演題賞「グルコサミンによるNF-κB阻害タンパクであるIκBaの制御」新潟県新潟市, Dec 16, 2018.	
その他 (広報活動を含む)	2	長岡 功: 第16回日本機能性食品医用学会総会 優秀演題賞「運動競技選手の軟骨・骨代謝に及ぼすグルコサミン含有食品摂取の効果」新潟県新潟市, Dec 16, 2018.	
その他 (広報活動を含む)	3	五十嵐庸: 日本未病システム学会最優秀演題賞 (プロシーディングの部), 「グルコサミンは軟骨細胞においてサーチュイン1を介してII型コラーゲン遺伝子の発現を亢進する」, Oct 27, 2018.	
その他 (広報活動を含む)	4	Nagaoka I: Excellence in Reviewing, Molecular Medicine Reports, Spandidos Publications. May 6, 2018.	○